第１号議案　2009 年度事業報告（案）

（平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日）

Ⅰ　ひろしまＮＰＯセンターこの１年

2009 年に流行した言葉として「草食系男子」が挙げられる。派遣切りで職と住まいを失った人々の「年越し派遣村で開けた 2009 年」。2008 年 9 月 15 日にリーマンブラザーズが経営破たんして以来、世界金融危機が 2009 年を覆った。日本政治では 09 年 8 月 30 日の総選挙で民主党政権が誕生した。09 年 9 月には消費者庁が誕生。公務員制度改革、裁判員制度が施行。09 年 4 月 5 日には、アメリカのオバマ大統領が「核なき世界」を語った。世界や日本をめぐる社会情勢は閉塞感を脱しきれない一面とともに、新しいうねりを垣間見せた。一方、地方に目を転ずれば、中国地方圏は消滅する可能性のある集落数 498 か所（全国 2643 か所）と全国トップと中山間地の活性化の問題はまったなしの状況にある。

2000 年代は、国家や社会を支える法や制度が、根底から変革された時代だったと振り返られるだろう。しかし、かくも大きな変革があったにしては、まだまだ、社会そのものは混とんとした状況を脱しきれていない。いまだ変革の途上にあるように感じられる。経済立て直しのための知恵はどこにあるのか?　豊かな社会を実現するためには何が必要か？働く者が報われる社会を実現する方法は?　誰もが生きやすい国へと変える条件は?　疲弊した地方を活性化するための打開策は?　NPO 法の成立（1998 年）から 12 年、世界情勢や国や地方の社会状況の変化の中で、2009 年は、原点にもどって NPO の再認識、再構築の時代に突入したものと感じられた。

ひろしま NPO センターでは、外部環境の変化をみながら、NPO 支援のあり方を模索、新たなビジョン策定の方向性を検討した一年であった。①NPO 情報の収集・提供（CANPAN を活用したポータルサイト構築等）、②事業型 NPO と「社会的企業」の育成・支援、③協働に関する調査・提言、④NPO の資金調達への取り組みを柱とした。

総じて 2009 年度は、次年度への本格稼働にむけての土台作り着手の年となった。

Ⅱ　センターの運営に関する事項

１．通常総会の開催

第 12 回　　2009 年 5 月 30 日（土）13:30～15:30　　正会員 140 名中 78 名出席（うち 54 名委任）

場　所　幟会館 2F　会議室 C（広島市中区八丁堀 3-1）

内　容　(1)2009 年度　事業報告及び決算について　(2)2010 年度　事業計画及び予算について

２．理事会の開催

第１回　　2009 年 4 月 28 日（火）18:00～20:00　13 名中 9 名出席（うち 2 名委任）

会　場　ひろしま NPO センター事務所　会議スペース

内　容　(1)第 12 回（2009 年度）通常総会開催の件　(2)2008 年度事業報告・決算に関する件
(3)ビジョン策定、及び 2009 年度方針、事業計画及び予算作成に関する件

第２回　　2009 年 5 月 26 日（火）18:00～20:00　13 名中 7 名出席（うち 1 名委任）

会　場　ひろしま NPO センター事務所　会議スペース

内　容　(1)第 11 回（2009 年度）通常総会の開催
及び、2008 年度事業報告・決算、2009 年度方針・事業計画及び、予算作成に関する件
(2)短期借入の件

第３回　2009 年 7 月 14 日（火）18:00～19:30　15 名中 8 名出席
会　場　ひろしま NPO センター事務所　会議スペース
内　容　(1)2009 年度事業の進捗状況と今後にむけての意見交換

第４回　2010 年 2 月 17 日（水）13:00～15:30　15 名中 11 名出席（うち 2 名委任）
会　場　ひろしま NPO センター事務所　会議スペース
内　容　(1)2009 年度事業の進捗状況と年度末までの事業予定
(2)2010 年度通常総会の開催について及び、2010 年度事業計画策定について

３．役員体制

2009 年度のガバナンスならびに組織体制については、次のような概要で構成した。

代表理事	安藤　周治	NPO 法人ひろしまね理事長	（全体統括）
副代表理事	三好　久美子	余暇生活開発士	（東部担当）
副代表理事・常務理事	中村　隆行	センター長（統括責任者）	（西部担当）
常務理事	毛利　葉	事務局長	
理事	山本　一隆	中国新聞社　副社長	メディア
	鍋島　一仁	中国経済連合会　参与	企業
	伊木　剛二	広島商工会議所　総務部長	企業
	吉田　修	広島県労働者福祉協議会　事務局次長	労働福祉団体
	浅野　ジュン	中国・地域づくり交流会　事務局長	NPO
	児玉　宏	NPO 法人コーチズ　代表理事	NPO
	茶山　ちえ子	NPO 法人 WAC 広島ふれあいセンター　理事長	NPO
	村田　民雄	NPO 法人 e&ｇ研究所　理事長	NPO
	松尾　健司	NPO 法人ちゅうごく環境ネット　事務局長	NPO
	末田　紘	前　広島国際大学教授	学識経験者
	五百竹　宏明	県立広島大学経営情報学部　准教授	学識経験者
監事	久笠　信雄	弁護士	
	藤川　晴基	税理士・広島経済大学　非常勤講師	

４．事務局体制

センター長　中村隆行……相談事業、共同事務所運営、助成事業、広島県社会的企業事業、広島市 CB 事業
(統括責任者)　　中国 CB/SB 推進協議会、ボランティアフェスティバル、共同募金他
事務局長　毛利葉……相談事業、情報発信、助成事業、広島県協働調査事業他
スタッフ　矢野孝明……広島県協働調査事業　　田中尚美……広島県協働調査事業
新渕大輔……広島県協働調査事業　　松村渉……広島県協働調査事業
下稲浩二……広島県社会的企業事業　　東川繁博……広島市 CB 事業
山本祐二……広島市 CB 事業（NPO 法人湯来観光地域づくり公社　担当）
藤本康秀……広島市 CB 事業（NPO 法人ふぞろいプロジェクト　担当）
本田真紀子…広島市 CB 事業（NPO 法人コミュニティリーダーひゅーるぽん　担当）
荒川実加……広島市 CB 事業（NPO 法人もちもちの木　担当）

※2009 年度中にスタッフとして参加した方　岡本加代子、松井小百合、佐々木将人、寺口智美、松井浩司

Ⅲ　ひろしま NPO センター　の事業に関する事項

1．情報収集提供事業

（1）ニュースレターの発行　年 2 回（第 60 号…5 月 7 日発行　第 61 号…1 月 12 日発行）

（2）情報ステーション（HP）の運営

年　度	アクセス数　　※■＝2,000 件	累　計
2001 年（H13）	■■■■（8,000 件）	8,000 件
2002 年（H14）	■■■■■（10,000 件）	18,000 件
2003 年（H15）	■■■■■□（11,000 件）	29,000 件
2004 年（H16）	■■■■■□（11,000 件）	40,000 件
2005 年（H17）	■■■■■■■■■■■■（24,000 件）	64,000 件
2006 年（H18）	■■■■■■■■■■■■■■■（30,000 件）	94,000 件
2007 年（H19）	■■■■■■■■■■■■■■（28,000 件）	122,000 件
2008 年（H20）	■■■■■■■■■■■■■■（28,000 件）	150,000 件
2009 年（H21）	■■■■■■■■■■■■■■■■■■■□（37,000 件）	187,000 件

<HP 掲載内容>①ひろしま NPO センター設立のミッション、②団体概要、③役員、④事業紹介
⑤助成金情報、⑥行政情報、⑦全国的な NPO 情報、⑧イベント情報、⑨NPO 法制度　等

★2007～2008 年度はこの年間、掲載内容の充実度、内容の更新の遅れ等からアクセス数が伸び悩んだが、活動の広がりや助成金・イベント情報などの掲載をタイムリーにすすめてきた結果アクセス数が年間 9,000 件（3 割増）増えた。

・その他の HP による情報発信
コミュニティ・ジョブの普及啓発…「ひろしまコミュニティ・ジョブセンター（厚生労働省委託）」事業
CB/SB に関する情報提供…「中国地域 CB／SB サポートセンター」事業

（3）ブログの運営

年　度	アクセス数　　※■＝2,000 件	累　計
2008 年（H20）	■（1,350 件）	1,350 件
2009 年（H21）	■□（2,500 件）	3,850 件

（4）団体情報の収集・開示推進事業

・日本財団 CANPAN と連携し、地域公益ポータルサイト「もみじコミュニティ」開設（2010 年 3 月 15 日）
認証基準　①事務所機能があり、法令を順守し、公序良俗に違反する行ないがない、広島県内を活動拠点とする NPO 法人。
②開示されている情報が実際の事業報告書や決算書と比較して内容に齟齬がないこと。
③CANPAN 登録し、★★★［星 3 つ］以上あること。

★「もみじコミュニティ」は、社会的・地域的課題に誠実に向き合い、責任ある情報開示を行なっている団体を「NPO の社会的信用創造のパートナー団体」として“認証”し、支援していく情報インフラの 1 つです。当面、NPO 法人を対象に認証団体を広げ、市町の支援センターとも連携し進化させていきます。

２．サポート事業

（１）拠点提供事業　共同事務所の運営　広島市との協働事業

「NPO・市民活動団体向けの活動拠点を提供する共同事務所事業」（2009 年 4 月～2013 年 3 月）。

入居団体間ネットワーク構築事業「寄合」の開催　2009 年 5 月 11 日（月）

9 団体に事務所スペースを貸し出し

	入居団体名	入居時期	退出時期
×	NPO 法人平和貢献 NGOs ひろしま	2006 年 7 月	2009 年 9 月 30 日退出
×	NPO 法人地域商業を考える会	2007 年 1 月	2009 年 7 月 31 日退出
現	NPO 法人ひろしま産業カウンセリング研究会・自由区	2007 年 4 月	2011 年 3 月 31 日二次延長
現	NPO 法人中国キャリアコンサルタント研究会	2007 年 6 月	2011 年 5 月 31 日二次延長
現	NPO 法人子どもコミュニティネットひろしま	2007 年 6 月	2011 年 6 月 14 日二次延長
×	NPO 法人エコ・ツーリング協会	2009 年 1 月	2009 年 12 月 31 日退出
現	社団法人ガールスカウト日本連盟広島県支部	2009 年 3 月	2011 年 2 月 28 日
現	夢現大学	2009 年 11 月	2011 年 10 月 31 日
現	広島市民ハイキング	2010 年 1 月	2011 年 12 月 31 日
現	ひろしまジン大学	2010 年 1 月	2011 年 12 月 31 日
現	ブンメシ THEATER PROJECT ひろしま	2010 年 2 月	2012 年 1 月 31 日
現	舞台芸術制作室　無色透明	2010 年 3 月	2012 年 2 月 29 日

（２）相談事業

・「幟会館事務所」における相談事業（随時・無料）

・「ひろしまコミュニティ・ジョブセンター」における相談事業（無料）

月～金 10:00～18:00、土 13:00～18:00　ひろしまジョブプラザ（中区八丁堀 16－14 第二広電ビル 4 階）

NPO 法人設立、NPO 等団体運営、資金調達等の相談に対応。

・広島市まちづくり市民交流プラザ「市民活動相談会～市民活動成功の秘訣」への相談員派遣（無料）【協力】

10 月 3 日（土）馬場宏二（中小企業診断士）　相談員：中村隆行（ひろしま NPO センター副代表理事）

12 月 5 日（土）山本恵由美（もりメイト倶楽 Hiroshima 副会長）　相談員：中村隆行（同上）

・労働団体、福祉事業団体と協働し、地域事務所における相談窓口に相談員を派遣。

・年間相談件数のべ 112 件、43 団体の設立支援、運営へのコンサルテーション、助成金申請書の書き方、財務会計などの相談に対応してきた。

内　容	件　数	団体数	内　容	件　数	団体数
法人設立相談	56 件	14 団体	運営相談	10 件	7 団体
資金調達相談	11 件	5 団体	連携相談	7 件	行政 2、企業 3、NPO2
助成金申請相談	28 件	10 団体	計	112 件	43 団体

（３）資金［協賛・寄付］・什器等提供事業

★今年度は、総額 255 万円の資金を NPO・市民活動団体へ仲介・提供できた。昨年に引き続き NTT ドコモ中国支社の協賛を得た他、「ろうきん寄付システム」では広島県職員労働組合が独自に寄付集めに動かれた。一方、「サポート倶楽部」については、民営化以後の郵政公社（現日本郵政）の協力が得にくくなり、個別寄付者への報告が困難となり、寄付者の減少を招いている。また、3 事業共通して CANPAN4 つ星以上の登録団体には申請にあたって団体情報の記入を免除する等、申請書の簡便化と団体情報の公開を進めた。

①ひろしま NPO 活動奨励賞　　特別協賛団体：株式会社 NTT ドコモ中国支社

応募 20 団体中、書類審査で 9 団体に絞り、3 月 22 日（月・祝）幟会館 2 階会議室 C で開催した「公開プレゼンテーション」において審査の結果、以下のように受賞団体を決定、助成を行った。

審査委員：（長）三好久美子（余暇開発士、NPO 法人ひろしま NPO センター副代表理事）
金谷信子（広島市立大学国際学部准教授）山本恵由美（もりメイト倶楽部 Hiroshima 副会長）
松尾健司（NPO 法人ちゅうごく環境ネット事務局長）

受賞名　配分決定団体及び申請事業名	所在地	受賞金額
NTT ドコモ中国賞　NPO 法人中央・幸工房「地域活動支援センターⅢ型事業」	広島市佐伯区	150,000
優秀賞　演劇ボランティアサークル「LOAG」「演劇プロジェクト 2010」	広島市西区	100,000
奨励賞　舞台芸術制作室無色透明 C.T.T.広島事務局「広島の役者による広島の役者のためであり、かつ創造を愛する全ての人のための舞台」	広島市安佐北区	50,000
奨励賞　NPO 法人にこにこ元気「新しい地域の高齢者のんびりサロン」	廿日市市	50,000
参加賞　NPO 法人二葉の里に桜並木を復活させる会「二葉の里に桜並木を復活させる事業」	広島市東区	10,000
参加賞　青年社会起業家サポートグループ・P-SONIC「ひろしま社会起業支援サミット 2010」	広島市安佐南区	10,000
参加賞　市民運動交流センターふくやま「韓国併合から 100 年福山市民リレー講座」	福山市	10,000
参加賞　NPO 法人はなみずき「はなみずき“みんなの音楽会”」	広島市安佐南区	10,000
参加賞　NPO 法人瀬戸プロフェッショナル・シニア「きのこ販売事業」	尾道市	10,000
合計　9 団体		400,000

②中国ろうきん NPO 寄付システム

2009 年度は、3 月 17 日（水）事務所で選考委員会を開催し、応募団体 26 団体中 14 団体に総額 115 万円の助成を決定。2009 年 3 月 22 日（月・祝）幟会館 2 階会議室 C にて助成金配分式を行った。

選考委員：（長）金谷信子（広島市立大学国際学部准教授）、三好久美子（余暇開発士）、中村隆行
児玉宏（NPO 法人コーチズ代表理事）、松尾健司（NPO 法人ちゅうごく環境ネット事務局長）

分野	配分決定団体（NPO 法人）	所在地	配分額
保健・医療・福祉	夢の広場ようこそ	広島市安佐北区	100,000
	日本タッチ・コミュニケーション協会	呉市	100,000
	広島がんサポート	広島市中区	100,000
社会教育	犬猫みなしご救援隊	広島市安佐北区	50,000
	神楽保存協会	三次市	50,000
まちづくり	かべ工房村	広島市安佐北区	50,000
文化芸術・スポーツ	安芸七軒茶屋広島が好きじゃけん組	広島市安佐南区	100,000
環境保全	あいあいねっと	広島市安佐北区	100,000
人権・平和	ピースビルダーズ	広島市中区	50,000
子どもの健全育成	学習支援ヴァバウス	福山市	100,000
	スイス村	庄原市	100,000
	ひろしまチャイルドライン子どもステーション	広島市西区	100,000
	イーハート	広島市西区	100,000
消費者保護	消費者ネット広島	広島市中区	50,000
合計	14 団体		1,150,000

③ひろしま NPO サポート倶楽部

2009 年度は 3 月 17 日（水）事務所で選考委員会を開催し、応募団体 29 団体中、13 団体に総額 100 万円の助成を決定。2009 年 3 月 22 日（月・祝）幟会館 2 階会議室 C にて助成金配分式を行った。

選考委員：（長）五百竹宏明（県立広島大学経営情報学部准教授）、三好久美子（余暇開発士）、中村隆行
児玉宏（NPO 法人コーチズ代表理事）、松尾健司（NPO 法人ちゅうごく環境ネット事務局長）

配分決定団体（NPO 法人）及び申請事業名	所在地	配分額
うたしの会「認知症予防の地域サポーター養成と『脳と体の健康ルーム』展開事業」	広島市佐伯区	50,000
小規模はげみ会作業所「地域活動支援センター」	三原市	50,000
大崎上島ながいき委員会「『海と島と Café』事業計画基礎調査」	大崎上島町	50,000
F›Rose エンターテイメントスタジオ「ミュージカル『龍馬の見た福山』の上演事業	福山市	100,000
子どもコミュニティネットひろしま「アートキャンプワークショップ 2010」	広島市中区	100,000
消費者ネット広島「消費者見守り啓発セミナー」	広島市中区	50,000
ベトナム友の会―ヒロシマ―「日本とベトナムの小学生および学校」	広島市安佐北区	50,000
ふぞろいプロジェクト「次世代農業家と農業ビジネスにかかわる人材の育成事業」	広島市西区	100,000
ウイングかべ「行き場や所属のない中年世代のレジリアンスと社会的起業に向けた事業」	広島市安佐北区	50,000
ホッとるーむふくやま「立ち寄りプロジェクト」	福山市	100,000
善菊会「I ターン・スロー・ネットワークづくり」	三次市	50,000
森のバイオマス研究会「『バイオマスかるた』でもっとバイオマス！」	庄原市	150,000
七塚原自然体験活動研究センター「きのこ園づくり」	庄原市	100,000
13 団体		1,000,000

④備品のリユース寄贈事業

・「ひろしまイーパーツ PC リユース事業」
NPO 法人イーパーツ、ひろしま市民活動ネットワーク HEART to HEART との共催企画
2009 年 5 月 18 日（月）三者で選考会　HEART to HEART 事務所
2009 年 6 月 28 日（日）幟会館 2 階会議室 C「寄贈式&イベント」開催

配分決定団体名	所在地	採否台数
NPO 法人あいあい広場	福山市	2
NPO 法人安芸七軒茶屋　広島が好きじゃけん組	広島市安佐南区	1
NPO 法人妹背（いもせ）ウォーターフォールクラブ	廿日市市	2
NPO 法人 e&g 研究所	福山市	5
e 子育てセンター	広島市安佐南区	3
NPO 法人ウイングかべ	広島市安佐北区	3
HJV 広島浄心院ボランティア	広島市西区	1
NPO 法人エコ・ツーリング協会	広島市中区	1
NPO 法人尾道空き家再生プロジェクト	尾道市	2
NPO 法人家族と教育を考える会	福山市	1
NPO 法人高次脳機能障害サポートネットひろしま	広島市佐伯区	2
NPO 法人子どもコミュニティネットひろしま	広島市中区	3
NPO 法人障害者自立支援センター	尾道市	3
NPO 法人消費者ネット広島	広島市中区	1
NPO 法人青少年交流自立センターCROSS	広島市西区	2

たつじんくらぶ	広島市中区	1
NPO 法人地域商業を考える会	広島市中区	1
NPO 法人中国シニアライフアドバイザー協会	広島市中区	1
NPO 法人中央・幸工房	広島市佐伯区	2
NPO 法人七塚自然体験活動研究センター	庄原市	1
NPO 法人にこにこ元気	廿日市市	2
NPO 法人日本タッチ・コミュニケーション協会	呉市	2
NPO 法人ハートイヤ	福山市	1
NPO 法人はなみずき	広島市安佐南区	1
NPO 法人藁（ひこばえ）	三原市	2
広島アジア友好学院	広島市中区	1
NPO 法人ひろしま NPO センター	広島市中区	3
ひろしま市民活動ネットワーク HEARTto HEART	広島市中区	1
NPO 法人広島鯉城断酒会	広島市中区	1
NPO 法人福山ブルガリア協会	福山市	1
府中町公衆衛生推進協議会	安芸郡府中町	1
NPO 法人三次おやこ劇場	三次市	1
NPO 法人よもぎのアトリエ	広島市安佐北区	1
わくわく工房（NPO 法人 わくわく会）	三原市	1
NPO 法人キャリアネット広島	広島市中区	2
35 団体		59

・什器の寄贈①

寄贈団体：三井住友海上火災保険株式会社　寄贈什器：スチール机 6 台、脇机 2 台、椅子 4 脚

寄贈日時：2009 年 4 月 3 日　寄贈先 2 団体：NPO 法人コーチズ、(社福)くさのみ福祉会ピクトハウス

・什器の寄贈②

寄贈団体：三井住友海上火災保険株式会社　寄贈什器：屋外用備え付け物置 1 台

寄贈日時：2009 年 6 月 25 日　寄贈先 1 団体：NPO 法人地域福祉活動支援協会 人間大好き

3．啓発・研修事業

（1）啓発事業

・トヨタ財団 2009 年度地域社会プログラム

「地域における新たな「つながりづくり」を考える―豊かな地域社会の実現に向けて―」　参加 115 名

2009 年 6 月 27 日（土）13:00～17:25　広島 YMCA ホール。2 号館コンベンションホール

オープニング・フォーラム「地域を変える『つながり』とは何か―多様な視点から考える―」

塚本俊明（広島大学地域連携センター）、安藤周治（ひろしま NPO センター）

大江和彦（島根県海士町役場）、中村俊郎（中村ブレイス株式会社）、山城滋（中国新聞社）

分科会①「人づくり―地域で人を育てる、地域と人をつなぐ―」

小川孝雄（NPO 法人岡山 NPO センター）、井上将太（高知大学農学部・学生）

田中玄洋（NPO 法人学生人材バンク）、村田民雄（NPO 法人 e&g 研究所）

分科会②「場づくり―出会いとつながりを生む新たなコミュニティづくりの可能性」

後藤昇（広島大学大学院社会科学研究科）、大崎義男（NPO 法人おのみちアートコミュニケーション）

豊田雅子（NPO 法人尾道空き家再生プロジェクト）、松居秀子（NPO 法人鞆まちづくり工房）

分科会③「仕事づくり―つながりから生まれる地域資源の発見・活用」
於土井豊昭（防府市地域協働支援センター長）加藤せい子（NPO 法人吉備野工房ちみち代表理事）
小林清（NPO 法人いんしゅう鹿野まちづくり協議会副代表理事）
主催：トヨタ財団、NPO 法人ひろしま NPO センター
協力：やまぐち県民活動支援センター、NPO 法人岡山 NPO センター
財団法人ふるさと島根定住財団、とっとり NPO ネットワーク

・「コミュニティ・ハイツ　プロジェクト」NPO 対象説明会・意見交換会
～高齢者・子育て世代にやさしい地域貢献型多世代賃貸住宅推進プロジェクト～
2009 年 7 月 4 日（土）13:00～14:30 SOHO 国泰寺倶楽部 1 階サロン　参加 30 名
主催：コミュニティシステム合同会社、ひろしま NPO センター
後援：NPO 法人市民福祉団体全国協議会、(社)長寿社会文化協会(WAC)
※関連企画「"コミュニティ・ハイツ"事業セミナー」7 月 11 日（土）13:30～16:30 SOHO 国泰寺倶楽部
主催：コミュニティシステム合同会社、ひろしま NPO センター
後援：中国電力株式会社、NPO 法人市民福祉団体全国協議会
WAC 中国ネットワークセンター、WAC 関東ネットワークセンター

★東広島市で、１棟コミュニティハイツが建設されることとなり、福祉系・子育て系 NPO 等が入居予定。

（2）人材育成・団体（NPO）育成プログラムの開発
・「NPO のための会計基本講座」　※EPO ちゅうごくの地域活動支援業務として開催費を負担
2009 年 9 月 24 日、10 月 8 日・22 日・29 日・11 月 5 日・19 日＋交流会 26 日
計 7 回いずれも木曜日 18:30～20:30 に開催　幟会館 2 階会議室 C　参加無料　参加 27 名
講師：五百竹宏明（県立広島大学経営情報学部准教授）
主催：EPO ちゅうごく（環境省中国環境パートナーシップオフィス）、ひろしま NPO センター

・「NPO 情報開示セミナー2009」【地域・テーマ公益ポータル推進プロジェクト連携企画**】**参加 14 名
2009 年 10 月 1 日（木）13:30～17:30　幟会館 2 階会議室 C　参加費 1.500 円（会員 1,000 円）
講師：川北秀人（IIHOE［人と組織と地球のための国際研究所］代表）
主催：ひろしま NPO センター　共催：IIHOE［人と組織と地球のための国際研究所］

・「財団職員から学ぶ"助成金の書き方講座"」　参加 27 名
2009 年 10 月 3 日（土）10:30～13:30　幟会館 2 階会議室 C　参加費 1,000 円（会員 700 円）
講師：山田泰久（日本財団経営企画グループ情報コミュニケーションチーム）
主催：ひろしま NPO センター　共催:日本財団 CANPAN

・「SPREAD 情報セキュリティサポーター検定講座 in 広島」平成 21 年度情報通信人材研修事業**【**協働団体**】**
2009 年 11 月 3 日（火・祝）10:00～17:00　幟会館 2 階会議室 C　受講料 3,600 円（奨学金制度で無料）
講師：高坂史彦（株式会社ラック　サイバーリスク総合研究所）　参加・検定試験受験者 16 名
主催：NPO 法人日本ネットワークセキュリティ協会　共催：セキュリティ対策推進協議会（SPREAD）
※「情報セキュリティ人材育成シンポジウム～永遠のビギナー対策を考える～」参加：毛利
2010 年 2 月 15 日（月）東京・ベルサール八重洲 3 階
主催：総務省　　事務局：NPO 法人日本ネットワークセキュリティ協会
セキュリティ対策推進協議会（SPREAD）第 1 回サポーター全体会議、同時開催　参加：毛利

・「生活支援・総合相談員ライフサポーター(LS)養成研修」
2009 年 11 月 17 日（火）13:00～19 日（木）12:00　ワークピアひろしま　受講料 20,000 円　参加 20 名
主催：NPO 法人地域創造ネットワーク・ジャパン
共催：日本労働組合連合会（連合）、労働者福祉中央協議会（中央労福協）、ひろしま NPO センター

・「"協働力"パワーアップセミナー」
2010 年 2 月 1 日（月）13:00～17:00　幟会館 2 階会議室 C　参加費 1,500 円（会員 1,000 円）参加 45 名
挨拶：竹内真澄（広島県環境県民局総務管理部県民活動課課長）　報告：協働環境調査チーム
講師：川北秀人（IIHOE［人と組織と地球のための国際研究所］代表）
主催：IIHOE［人と組織と地球のための国際研究所］、ひろしま NPO センター

・「NPO 実践ブログ講座」
2010 年 2 月 28 日（日）13:00～17:00　幟会館 2 階会議室 C
参加費 1 団体 2,500 円［PC 持参 1,500 円］（会員 500 円引き）　8 団体参加 10 名
講師：山田泰久（日本財団システム統合グループ情報コミュニケーションチーム）
主催：日本財団 CANPAN、ひろしま NPO センター

・広島市まちづくり市民交流プラザ「市民活動マネジメント講座」水曜日開催【講師紹介協力】
組織運営編　9 月 10、17、24 日、　資金・会計編 11 月 4 日、11 日、18 日、広報編 12 月 2、9、16 日
馬場宏二（コンサルファーム 21 代表理事、中小企業診断士、産業カウンセラー）、藤川晴基（税理士）
下宮勇生（㈲S-Produce 代表取締役）、河野上和廣（㈲レボ・リューション代表取締役）、中村隆行他

・「ボランティアコーディネーター養成講座」【広報協力】
2009 年 12 月 12～13 日（土～日）、2010 年 1 月 23～24 日（土～日）広島市まちづくり市民交流プラザ
主催：NPO 法人コミュニティリーダーひゅーるぽん(社福)広島市社会福祉協議会広島市ボランティア情報センター、(財)広島市ひと・まちネットワークまちづくり市民交流プラザ

・地域貢献活動分野における職業能力開発推進体制整備モデル事業(コミュニティ・ジョブ支援事業)【厚生労働省】
・関係機関連絡会議（関連機関とのネットワーク構築）年 3 回開催
広島県、広島県社会福祉協議会、広島市社会福祉協議会、(社)広島県シルバー人材センター連合会
(財)ひろしま産業振興機構、(独行)雇用・能力開発機構、広島キャリア交流プラザ（ハローワーク）、
エソール広島、広島市女性教育センターWE プラザ、(社)広島県雇用開発協会
・広報活動（HP 開設、リーフレットの作成配布他）　・
・法人情報、設立・起業相談「ひろしまコミュニティ・ジョブセンター」相談者 307 件、他電話等 807 件
・「起業セミナー～介護・子育て・社会的起業塾～」開催　幟会館会議室 C
第 1 回　2 月 20 日（土）　第 2 回 3 月 6 日（土）　第 3 回 3 月 13 日（土）
・インターンシップ受入　計 11 団体　37 名
NPO 法人コーチズ、NPO 法人あいあいネット、NPO 法人もちもちの木、NPO 法人 Ant-hiroshima
NPO 法人ちゅうごく環境ネット、NPO 法人中国キャリアコンサルタント研究会
NPO 法人かべ工房村　縁が和、NPO 法人よもぎのアトリエ、NPO 法人工房おのみち帆布
NPO 法人キャリアネット広島、NPO 法人ヒロシマ文化・健康サポートセンター
・登録者 106 名に対し、フォローアップ、アンケート実施

・NPO 法人活動促進事業　（2009 年 4～7 月）【広島県緊急雇用対策基金事業】

「広島県雇用関連基金を活用した NPO 法人からの事業募集」

・雇用職員：1 名　3 ヶ月雇用（4 月 15 日～7 月 14 日）

・募集事業　説明会：4 月 18 日（土）幟会館 2 階会議室 C（広島市）　参加 10 団体

4 月 19 日（日）福山市生涯学習プラザ「ローズコム」大会議室　参加 4 団体

・応募団体 12 うち広島県に提案した団体　9 団体 10 事業

NPO 法人コーチズ、NPO 法人日本タッチ・コミュニケーション協会、NPO 法人ひろしま女性 NPO センター未来、NPO 法人中国キャリアコンサルタント研究会、NPO 法人地域福祉支援協会人間大好き、NPO 法人 e&g 研究所、NPO 法人コミュニティリーダーひゅーるぽん（2 事業）、NPO 法人グリーンラインを愛する会、NPO 法人ひろしま NPO センター

※審査会　7 月 29 日（水）県庁東館

採択：NPO 法人コーチズ、NPO 法人グリーンラインを愛する会、NPO 法人ひろしま NPO センター

・社会的企業育成支援業務　（2009 年 10 月～2012 年 3 月）【広島県雇用創出基金事業】

・モデル事業実施人材雇用業務

NPO 法人コーチズ「高齢者介護予防事業普及推進事業」

NPO 法人日本タッチ・コミュニケーション協会「T・C プログラムの普及・拡大事務」

コミュニティシステム合同会社「地域貢献型多世代賃貸住宅コミュニティハイツ事業」

・募集説明会 2 回、審査委員会 1 回、採用時研修（座学）3 回、（現場実習）9 回、運営指導 21 回

・実践研修企画委員会 2 回

・雇用職員：従事団体へ 3 名（2009 年 12 月 1 日～2010 年 3 月 31 日）センター従事者 2 名（のべ 3 名）

・広島市・コミュニティビジネス・社会的企業育成促進事業（2009 年 12 月～2012 年 3 月）

【広島県雇用創出基金事業】

①地域コーディネーターの派遣

・「説明会」の開催…2009 年 12 月 22 日（火）幟会館 2 階会議室 C

・支援先団体審査委員会の実施

審査委員：（長）松波龍一（中国地域づくりセンター所長、(社)日本都市計画学会理事中国・四国支部長）

鍋島一仁（中国地域 CB/SB 推進協議会幹事、中国経済連合会主席、NPO 法人ひろしまレクリエーション協会理事長）

金谷信子（広島市立大学国際学部准教授）、児玉宏（NPO 法人コーチズ代表）

馬場宏二（コンサルファーム 21 協同組合代表理事、中国地域 CB/SB 推進協議会幹事）

・第 1 期支援先団体…NPO 法人湯来観光地域づくり公社、NPO 法人ふぞろいプロジェクト

NPO 法人コミュニティリーダーひゅーるぽん、NPO 法人もちもちの木

・地域コーディネーターの選定　雇用 4 名

②コミュニティビジネス起業塾の開催

第 1 回 2 月 10 日　講師：中村隆行　15 名　第 2 回 3 月 6 日（土）講師：馬場宏二、児玉宏　10 名

第 3 回 3 月 13 日　講師：竹中庸子（もちもちの木）、下宮勇生（S-Produce）、藤川晴基（税理士）6 名

第 4 回 3 月 20 日　講師：馬上清治（テクノファ中国コンサルタンツ株式会社）、下宮勇生　8 名

③交流会の開催　2010 年 3 月 22 日（月・祝）幟会館 2 階会議室 C　35 団体参加

④インターンシップ　受入団体　NPO 法人キャリアネット広島、NPO 法人もちもちの木

NPO 法人コミュニティリーダーひゅーるぽん、NPO 法人コーチズ

・地域新事業創出発展基盤促進事業（中国地域 CB／SB 推進協議会事業）
(社) 中国地域ニュービジネス協議会、経済産業省、中国経済産業局【連携事業】
事業管理　推進プロジェクトマネジャーとして中村隆行（ひろしま NPO センター副代表理事）が参加
「推進フォーラム」八丁堀シャンテ　①8 月 28 日（金）144 名　②1 月 18 日（月）63 名
「推進セミナーin 鳥取」ホテルニューオータニ鳥取　①9 月 30 日（水）90 名　②2 月 19 日（金）36 名
「推進セミナーin 島根」サンラポーむらくも　①11 月 20 日（水）62 名　②2 月 25 日（木）56 名
「推進セミナーin 岡山」ゆうあいセンター大会議室　①12 月 6 日（日）50 名　②3 月 7 日（日）40 名
「推進セミナーin 山口」①12 月 16 日（水）防府青年館　29 名　②3 月 1 日（月）県社会福祉会館 35 名
主催：中国地域 CB/SB 推進協議会、中国経済産業局、鳥取県経済同友会、(財)ふるさと島根定住財団
NPO 法人岡山 NPO センター、CB ネット岡山、中国地域 CB/SB 推進協議会山口支部
・「輝業塾」第 1 回 10 月 27 日　講師：近藤修司　25 名　第 2 回 11 月 25 日　講師：馬場宏二　23 名
第 3 回 12 月 9 日　講師：馬上清治　20 名
・専門家派遣　NPO 法人わくわく元気舎 1 月 27 日、NPO 法人さくぎ振興会 2 月 8 日・23 日
NPO 法人大崎いきいきながいき委員会 2 月 10 日、NPO 法人ふぞろいプロジェクト 2 月 26 日
NPO 法人コミュニティリーダーひゅーるぽん 3 月 12 日・26 日、NPO 法人もちもちの木 3 月 12 日

４．調査・研究に関する事業

（１）NPO 法・税制度改革研究会
・「NPO／NGO に関する税・法人制度改革連絡会」に、地方幹事団体として参加

（２）「NPO 会計基準協議会」　※呼びかけ・世話団体として参加　策定委員会専門委員として五百竹参加
※第 1 回総会・第 1 回策定委員会合同会議　2009 年 3 月 31 日　参加：中村、五百竹、毛利
第 2 回総会・第 5 回策定委員会合同会議　2009 年 11 月 14 日　参加：五百竹
臨時総会　2010 年 2 月 2 日　参加：五百竹、毛利
・「NPO 法人会計基準策定プロジェクト全国キャラバン in 広島　とことん聞きます!!　みんなの意見」
2009 年 12 月 12 日（土）14:00～17:00　幟会館 2 階会議室 C　参加費 500 円　参加 58 名
講師：江田寛（NPO 法人会計基準策定委員会委員長、非営利法人研究学会理事、公認会計士・税理士）
トークセッション：末本朱美（全国女性税理士連盟西日本支部中国・四国ブロック副ブロック長）
上田美智栄（NPO 法人結いの会経理担当者）五百竹宏明
主催：NPO 法人会計基準協議会、ひろしま NPO センター　協力：EPO ちゅうごく

（３）IIHOE「第 4 回協働環境“活用度”調査」協力（　5～9 月）
・広島県、広島市、福山市に依頼し実施

（４）NPO と行政等との協働環境に関する調査事業　（2009 年 10 月～2010 年 3 月）
広島県緊急雇用対策基金事業
・推進委員会の実施　　第 1 回 12 月 4 日、第 2 回 3 月 4 日　第 3 回 3 月 22 日
推進委員：（長）安藤周治（NPO 法人ひろしま NPO センター代表理事）
上元新一郎（NPO 法人呉サポートセンターくれシェンド理事長）
金谷信子（広島市立大学国際学部准教授）
小林万里子（福山市ボランティア・NPO 総合センター「つれのうて」運営委員長）
鈴川千賀子（(社福)広島市社会福祉協議会広島市ボランティア情報センター所長）

中村隆行（NPO 法人ひろしま NPO センター副代表理事）
三好久美子（NPO 法人ひろしま NPO センター副代表理事）

・アンケート調査　（中間報告）NPO 法人対象　、行政対象　市民活動団体対象　企業・経済団体対象
・ヒアリング調査　訪問回数（のべ訪問団体数）265　　訪問団体数 238
行政 24、自治組織 2、公民館 1、企業・団体 6、中間支援 13、NPO 法人 183、市民活動(任意)団体 36
・雇用職員：4 名（のべ 5 名）　6 ヶ月雇用（2009 年 10 月 21 日～2010 年 3 月 31 日）

５．ネットワーク・政策提言に関する事業

（１）市町の支援センター、社会福祉協議会との連携

「地域支援・生活支援活動推進研修会（西日本)」2010 年 2 月 26～28 日（金～日）主催：全社協

（２）ドナーチョイス募金等を通した、広島県共同募金会との連携　担当：中村 2009 年 12 月～2010 年 3 月

地域をつくる市民を応援する共同募金活用事業“社会課題解決プロジェクト”10 団体

（３）人材育成事業を通して大学との連携

県立広島大学からの依頼を受け、インターンシップ 2 名を紹介
受入団体：NPO 法人ピースビルダーズ、NPO 法人もちもちの木

（４）労働団体、福祉事業団体等との連携

広島県労働者福祉協議会、中国労働金庫広島県本部、（財）広島県勤労者福祉財団と連携
協同労働の協働組合法制定にむけてのネットワーク「協同集会 in 広島 2009 実行委員会」中村、毛利

（５）地域課題・社会課題解決にむけての政策提言

広島県知事選にむけて立ち上げた「市民セクターひろしま連絡会」を通して、公開質問状を 5 名の候補に送付し 4 候補から回答をいただき。県民に情報提供した。

６．その他の事業

・「企業と NPO の子育て支援協働推進セミナー」【協力事業】
2009 年 11 月 20 日（金）広島国際会議場
講師：大竹美喜（アフラック［アメリカンファミリー生命保険会社］創業者・最高顧問）他
主催：(財)こども未来財団、公益社団法人日本フィランソロピー協会　後援：厚生労働省他

・「協同集会 in 広島 2009」【協賛事業】
2009 年 11 月 29 日（日）広島県民センターホール
講師：神野直彦（関西学院大学大学院教授、地方財政審議会会長、東京大学名誉教授）他
主催：「協同集会 in 広島 2009」実行委員会　後援：広島市等県内 7 市 7 町他

・平成 21 年度中国ブロック「環境保全に取り組む NGO・NPO 運営講座」【後援事業】
2009 年 12 月 5 日（土）RCC 文化センター
主催：（独行）環境再生保全機構地球環境基金

・「市民＝障害者フォーラム～私とあなた、障害のある人が町で生活すること～」【呼びかけ団体事業】
2009 年 12 月 5 日（土）広島平和祈念資料館メモリアルホール
講師：野沢和弘（毎日新聞論説委員）
主催：すべての障害児者と市民を結ぶひろしま県民会議

・「障がい者アートから、幸せの提案　幸せ Produce Crossin」【協力事業】
2009 年 12 月 6～11 日（日～金）紙屋町シャレオ中央広場
主催：NPO 法人コミュニティリーダーひゅーるぽん　共催：広島市立大学
・子育て NPO 活動者研修 in 広島
“気づき”の効果を“築き”につなげる「連続した子育て支援とリスクマネジメント」【後援事業】
2010 年 2 月 6～7 日（土～日）広島市女性教育センターWE プラザ
講演：中原美香（NPO リスク・マネジメント・オフィス代表）他
主催：厚生労働省、財団法人こども未来財団、NPO 法人関西こども文化協会
・中国キャリアコンサルタント研究会設立 5 周年記念講演会【後援事業】
2010 年 3 月 10 日（水）ホテルセンチュリー21 広島
講演：桐村晋次（法政大学大学院経営学研究科教授、日本産業カウンセリング学会会長）
主催：NPO 法人キャリアコンサルタント研究会　後援：広島労働局、広島県、広島市他

〇会議・NPO 関連行事などへの参加
・「認定 NPO をとろう！応援キャンペーン」キックオフイベント　参加：毛利
2009 年 4 月 1 日（水）中野サンプラザ 8 階　主催：シーズ・市民活動を支える制度をつくる会
・NPO／NGO に関する税・法人制度改革連絡会 2009 年度総会　参加：五百竹
2009 年 5 月 28 日（木）新東京コンファレンスコーナーA 会議室
・NPO 法人日本 NPO センター2009 年通常総会　2009 年 5 月 28 日（木）東京商工会議所　参加：五百竹
・Microsoft「NPODay2010」2010 年 2 月 9 日（火）マイクロソフト新宿本社　参加：毛利、松村
主催；マイクロソフト株式会社、日本 NPO センター
・地域テーマ公益ポータル全国会議・CANPAN 運営者会議
第 1 回　2009 年 8 月 8～9 日（土～日）東京・日本財団　参加：松尾、毛利
第 2 回　2009 年 11 月 7～8 日（土～日）東京・日本財団　参加：毛利
中国ブロック会議　10 月 2 日（金）13:00～17:30　幟会館 2 階会議室 C　参加 26 名
講師：川北秀人、山田泰久、深尾昌峰（NPO 法人きょうと NPO センター事務局長）
・全国ボランティアフェスティバル愛媛大会　2009 年 9 月 26～27 日（土～日）参加：中村
・中国 5 県中間支援センター連絡会議（中国労働金庫「2009 年度 NPO 中国 5 県中間支援組織連絡会議」）
第 1 回　2009 年 6 月 15 日（月）松江市テルサ会議室　参加：毛利
※「協働実践合宿研修」6 月 16～17 日（火～水）島根県立青少年の家／サンレイク
主催：しまね県民活動支援センター（ふるさと島根定住財団）　　オブザーバー参加：毛利
※「相談対応力向上研修」6 月 18 日（木）9:30～16:30　松江市市民活動センター　参加：松尾
主催：IIHOE［人と組織と地球のための国際研究所］共催：松江市、出雲市、ふるさと島根定住財団
第 2 回　2009 年 10 月 2 日（金）　広島市・幟会館 2 階会議室　　参加：中村、毛利
第 3 回　2009 年 11 月 2 日（月）　米子市福祉保健総合センター「ふれあいの里」2 階　参加：毛利
第 4 回　2010 年 2 月 3 日（水）　岡山県ボランティア・NPO 活動支援「ゆうあいセンター」参加：毛利
・「中国ろうきん NPO 寄付システム」CANPAN 登録による申請書の統一書式作成
・災害発生時における緊急寄付配分に関するガイドラインづくり

〇会としての引受・参加の事項
・マツダ財団市民活動支援助成　推薦依頼団体
・広島県再チャレンジ学習支援協議会　参加
・すべて障害児者と市民を結ぶひろしま県民会議の設立準備委員会　参加
・はつかいち市民活動相談ネットワーク　参加

〇講師等の派遣

中村隆行	健康福祉大学（南区）2009 年 5 月 30 日
	NPO 講座（安佐北区小河内）2009 年 7 月 28 日
毛利　葉	広島県協働推進主管課長会議で報告　2009 年 6 月 19 日
	広島県・中高生への NPO の解説　2009 年 10 月 23 日 NPO 法人もちもちの木
	福山市ボランティア・NPO 総合支援センター「つれのうて」セミナー　2010 年 3 月 6 日
	広島市市民活動推進課職場研修　2010 年 3 月 19 日

〇委員の派遣

安藤周治	NPO 法人日本 NPO センター　理事
	社団法人広島県青少年育成広島県民会議　理事
	広島県男女共同参画審議会　委員
	広島県平和貢献ネットワーク協議会　委員
中村隆行	中国経済産業局　地域産業の担い手創出のための方策検討委員会　委員
	広島県平和貢献ネットワーク協議会　幹事
	広島県被災者生活サポートボランティアネットワーク　委員
	広島県生涯学習センター青少年ボランティア活動推進委員会　委員
	広島県共同募金会改革検討委員会
	自治労広島県職員労働組合　地域政策センター　運営委員
	呉市市民協働推進委員会　委員
	三原市市民活動推進委員会　副会長　部会長
	広島市社会福祉協議会第六次地域福祉推進計画策定委員会　副委員長
	広島市男女共同参画審議会　委員
	広島市水の都推進委員会　委員
	広島市都市デザイン賞　選考委員
	広島市災害時ボランティア連絡調整会議　委員
	社団法人中国地域ニュービジネス協議会 CB／SB 推進プロジェクトマネージャー
	独立行政法人福祉医療機構「長寿・子育て・障害者基金」地方分（広島市）審査員
毛利　葉	全労災地域貢献助成事業　西日本審査委員
	広島市公募提案型協働モデル事業　審査委員
	中国ろうきん NPO 助成金制度　選考委員
平木久恵	広島市都市計画審議会　委員
橋本美知子	広島市緑化推進審議会　委員
川口隆司	広島市ボランティア情報センター　運営委員（推薦）

第 2 号議案　2010 年度事業計画（案）

（平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日）

Ⅰ　現状認識と今後の方向性について

1．視点

NPO セクターの拡大とともに、その発展の基盤とされる中間支援組織の数も増加してきた。民間の中間支援組織に加えて、公設の NPO 支援センターの数も増加し、全国で 300 近く存在する。広島県内においても、広島市（公設民営［財団運営］）、廿日市市（公設公営）、呉市（公設民営［NPO 運営］）、三原市（社協ボランティアセンター）、福山市（公設公営）などに支援センターが存在している。

NPO の抱える課題あるいは、活動を展開できる環境整備について、これまで、人・モノ・金・情報といった問題点が指摘されてきた。この問題点はここ 10 年変わっていない。

では、

第一に、NPO に対する「支援」「環境整備」という時、支援・環境整備を通じて何らかの形で成長した NPO の姿が想定されているはずである。その一つは、「自立した NPO の育成」といわれる。では、自立とはどのような事態を意味しているのか。（資金・資源にまつわる問題、連携・共同事業の実施による自己財源確保の提案）。

第二に、支援センターが NPO を支援する際の NPO の能力（キャパシティ）を問題とするが、どのような能力を、どのようなプロセスで育成していくことが必要になるか。（中核リーダーのマネジメント力、経営力）。

第三に、制度・システムとしての基盤整備として、法制度整備や政策提言の提案（協働のあり方、法改正、税制の問題、）。

第四に、中間支援組織としての機能の強化。

第五に、支援センターが安定的に支援を行うについての、中間支援組織自体の資金調達はどのようにして行っていくか。

2．そもそも中間支援組織とは

インターミディアリーの訳語として紹介される。インターミディアリーとは、寄付者、ボランティア等と資源提供者と NPO の中間において、情報提供、相談、評価を通じて、人・モノ・金・情報といった資源の媒介を行う組織のことを意味する。しかし、実際には、マネジメント、法人設立支援、ネットワーク構築、社会一般に対する NPO の啓発、調査研究など多くの役割を担っている。むしろ、英国では、「インフラストラクチャー組織」という言葉が使われることが多い。

インフラストラクチャーとは、「前線組織を支援し、開発・調整・代表・促進し、それらの組織が自らのミッションを、より効果的に達成することを可能にする」機能をいう。われわれ NPO センターは、インフラストラクチャーをミッションとした組織である。

これまで行われてきた支援事業の中身も、①情報提供　②法人設立支援　③講座・研修などの人材育成やマネジメントノウハウの提供　④啓発　といったことが中心だった。⑤調整、代表、セクター振興といった機能はいまだ弱い。⑥マネジメント支援に関しても、経営資源の提供や媒介、コンサルティングのような個別 NPO に対する密着した支援も弱い。NPO そのものも支援センターそのものも共通するが、⑦資金調達が弱い。

3．方向性

NPO が自らの使命・ミッションに基づいた活動や事業を持続可能な形で、展開していけることを「自立」

ととらえ、受益者から全てのコストを賄うだけの収入を得る事が難しい多くの NPO にとって、「自らが根ざす地域社会で、信頼や共感に基づいたサポートネットワークをいかに構築するか」「豊富なソーシャルキャピタルは、NPO が事業展開する際に、人、モノ、金、情報を含む様々な経営資源を獲得する際の不可欠の基盤条件となる」。

そのためにも、行政等との「協働」は重要なテーマと考え、そのあり方について調査研究を引き続きすすめていく。NPO は、地域住民に直結する細やかな公共サービスを供給する主体になりうる。協働時代の NPO と支援センター、さらに行政・企業との協働の課題を整理する必要が高いことから、地域別、分野別に行政職員や NPO 間の意見交換の場を積極的につくり、よりよい協働の方策を探っていく。

われわれ支援センターも、単にマニュアル的な事業計画の立て方を超えて、地域社会の諸資源と個々の NPO を直接的に媒介していくという機能が重要となる。そこで、センターと個別 NPO とのネットワーク・結びつきを強化して地域資源と NPO との媒介をスムーズに行えるよう、仕組みの開発を行う。具体的には、地域別、分野別の部会や円卓会議を設置し、関係強化と協働事業の実施を企画する。

行政との協働について行政の下請け化を防ぐとともに、ビジネス的手法を活用しつつ商業化に陥らない「社会的企業」のあり様を探っていく。業務委託に関しては、委託契約の入札のあり方、委託先 NPO を選択する際の適切な評価方法、NPO と行政の対等性を確保するための仕様書、委託金額の積算の問題、フルコストリカバリーの導入など、検討されるべき課題も多い。これらのために、支援センター同士の連携、研究者、行政職員、議員を巻き込んでの政策提言も必要と考え、意見交換、協議の場を設定する。

以上の様な、視点・方向性を、以下のような事業計画として取りまとめる。

Ⅱ　センターの運営に関する事項

１．通常総会の開催　（第 12 回）

日　時　　2010 年 5 月 29 日（土）　13:00～15:00　幟会館 2 階会議室 C

２．理事会の開催

第 1 回　　2010 年 5 月 18 日　12:30～14:30

会　場　ひろしま NPO センター会議スペース

議　題　(1)第 12 回通常総会の開催について　　(2)2009 年度事業報告・収支決算について

(3)2010 年度事業計画・収支予算について　　(4)2010～2011 年度役員改選について

今後の開催予定

第 2 回　2010 年 7 月　　第 3 回　2010 年 9 月　　第 4 回　2010 年 12 月　　第 5 回　2011 年 3 月

３．組織運営体制と進め方（理事会・ビジョン策定委員会、部会）

①理事会を充実させ、会の組織運営力・経営力を高めるとともに、社会の期待に応えられる中間支援センターへ飛躍するために、ビジョン策定委員会において、NPO の今後の発展方向ならびに、会の方向性を打ち出していく。

②「教育・文化」「まちづくり」「福祉」「環境」「IT 支援」といった部会を設置し会員の参加を呼びかける。未来の社会・NPO を担う若い世代から人生経験や活動経験が豊かな世代の会員が、「部会」への参加を通して参画意識を高め、会の質的強化、会員数の増強をすすめていけるようにする。

③事業については、それぞれ「プロジェクトチーム」を立ち上げ推進していく。

④事務局に関しては、スタッフ間のコミュニケーションを図り、事業の進捗状況や課題の共有化、業務の改善を進めるとともに、各自の持ち味を生かし、会の内外の研修を通して、次の担い手を育成していく。

Ⅲ　センターの事業に関する事項

○2010 年（平成 22 年度）事業方針

本年度の事業方針の柱として、

①「NPO の事業立案力アップ」「マーケティングアップ」「資金調達力（ファンドレイジング）アップ」の 3 つの力量、スキルアップを図るセミナーを実施する。

これにより、事業型 NPO、コミュニティビジネス型 NPO の進展につなげ、引いては雇用の発生、経済の活性化、地域の活性化に貢献することを目的とする。

②次に、中間支援機能として NPO センターの情報発信力（インフォメーション・コミュニケーション）、コンサルティング力、政策提言力（アドボカシー）、資源循環機能の 4 つの機能強化を図る。

③3 つめに、環境基盤整備として、資金を中心とした支援力を強化する。また、資金提供の基盤を活かし、「ファンド」創造の可能性を検討する。

以上の 3 つを柱に、各事業の実施にあたり 3 つの柱との関係性を考慮しながら事業を遂行していく。

1．情報収集提供に関する事業

（1）ニュースレターの発行

・年 4 回（6 月、9 月、12 月、3 月）発行。

・全国の NPO 事例や広島県内の NPO に関する情報、助成金情報、法・税制改正問題など、有用な情報を掲載していく。

（2）情報ステーション（HP）運営

・HP の発展充実、ブログの運用、メールマガジンの活用を行う。

・中国地域コミュニティビジネスサポートセンターの HP により、CB/SB に関する情報を提供していく。

（3）団体情報収集・開示推進事業

・「団体情報ライブラリー（NPO・市民活動団体・企業・行政等）」を事務所内に開設し、情報公開や情報提供を図り、資金調達や協働事業の推進に活用していく。

・日本 NPO センター「NPO ヒロバ」との連携を検討していく。

・日本財団 CANPAN と連携し開設した地域公益ポータルサイト「もみじコミュニティ」を活用し、広島県内の NPO の社会的信頼性を高めていく。

・地域・テーマ公益ポータル推進会議へ参加し、ポータルの効果的な運営や連携のあり方を探っていく。

2．団体へのサポートに関する事業（基盤強化のための事業）

（1）拠点提供事業

・広島市と協働し、市民活動団体向けの活動拠点を提供する共同事務所事業を引き続き行う。

・寄り合い（入居団体間ネットワーク構築事業）をはじめとして 2 ヶ月に 1 回の割合で、会合を開催し、入居団体との連携を図っていく。

（2）相談事業

・スタッフ全体で相談対応力の強化を図り、NPO 法人をはじめ、社会的企業等の立ち上げ、運営、資金調達などの相談に対応していく。また、連合と協働し、地域事務所における相談窓口に相談員を派遣する。

（3）資金（寄付・助成金）提供事業

・「ひろしま NPO 活動奨励賞」を引き続き実施。職域募金等寄付者の開拓を行っていく。目標 50 万円。

・「ろうきん NPO 寄付システム」中国労働金庫との協働事業を実施。県職労との連携。

日本財団 CANPAN への登録団体には、助成金申請書作成にあたって基本事項の記入の免除を行うなど申請書の簡便化と団体情報公開を進めていく。

また、中国 5 県の中間支援組織と連携し、「災害救援」の寄付金を災害発生時における緊急寄付配分として活用していく。

・「ひろしま NPO サポート倶楽部」この数年募金額の激減など制度のあり方に課題を生じてきているので検討し、新たなファンドの可能性について協議を始めたい。

本年度は、昨年並みの実績を確保するよう、広報 PR を検討する。

（4）備品のリユース事業

・「ひろしまイーパーツ PC リユース事業」を行う。

・企業等からの備品の提供等につき、情報提供を行う。

（5）アサヒビール・広島県との提携事業「うまい！を明日へ！プロジェクト」第 3 弾！を推進し、寄付受入団体として「海の環境保全活動助成金」として効果的な運用・配分をすすめていく。

（6）三井物産環境助成中国支社、株式会社アスカネット等、企業の CSR 活動との連携等を模索する。

3．啓発・研修事業

（1）啓発事業（広島県との「協働フォーラム」の開催等）

（2）NPO　各種研修講座

（3）NPO 法人会計基準の普及と支援　（NPO 法人会計基準協議会と連携）

（4）NPO　IT 活用支援　（マイクロソフト社、日本 NPO センターと連携）

（5）「全国ボランティアフェスティバル IN ひろしま」への協力

（6）「高校生起業家マインド養成講座実施事業」広島県教育委員会

（7）「社会的企業育成支援事業」広島県雇用創出基金事業

（8）「広島市・コミュニティビジネス促進事業」広島県雇用創出基金事業

（9）「CB/SB 推進事業」内閣府社会再生創出事業

（１０）中国地域 CB／SB 推進事業（中国地域 NBC 協議会・中国経済産業局）

4．調査・研究に関する事業

（1）NPO 法・税制度改革研究会　NPO/NGO に関する税・法制度改革連絡会「地域学習会」の開催

（2）「NPO 会計基準協議会」（世話団体）　策定委員会・協議会への参加

（3）「NPO と行政等との協働環境に関する調査事業」広島県緊急雇用対策基金事業

5．ネットワーク・政策提言に関する事業

（1）各政党・会派・議会との連携を図る。　民主党政策提言シンポジウム等

（2）広島県ほか県内市町自治体、中間支援組織との連携を図り、地域別・テーマ別の課題の共有化やネットワークを推進し、“協働”について深める。

（3）企業との連携を模索する。

（4）広島県共同募金会・社会福祉協議会との連携を促進する。

（5）障害児者と手をつなぐ県民会議への参加

（6）大学との連携を推進していく。

（7）労働組合・労働福祉団体との連携を図っていく。

（8）ワーカーズコープ等、協同組合との連携を図る。ひろしま「協同労働」推進ネットワーク（仮称）。

6．その他の事業

（1）講師・委員の派遣

（2）協力・連携事業の推進　コミュニティシステム合同会社連携事業等

第３号議案　2010～2011 年度役員（案）

（平成 22 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日）

代表理事	安藤　周治	NPO 法人ひろしまね理事長	（全体統括）
副代表理事	三好　久美子	余暇生活開発士	（東部担当）
副代表理事・常務理事	中村　隆行	センター長（統括責任者）	（西部担当）
常務理事	毛利　葉	事務局長	
理　事	山本　一隆	中国新聞社　副社長	メディア
	吉田　修	広島県労働者福祉協議会　事務局次長	労働福祉団体
	鍋島　一仁	NPO 法人ひろしまレクリエーション協会　理事長	NPO
	浅野　ジュン	中国・地域づくり交流会　事務局長	NPO
	児玉　宏	NPO 法人コーチズ　代表理事	NPO
	茶山　ちえ子	NPO 法人 WAC 広島ふれあいセンター　理事長	NPO
	村田　民雄	NPO 法人 e&ｇ研究所　理事長	NPO
	松尾　健司	環境カウンセラー	NPO
	末田　紘	前　広島国際大学教授	学識経験者
	五百竹　宏明	県立広島大学経営情報学部　准教授	学識経験者
		※［企業関係］広島商工会議所、中国経済連合会より、それぞれ理事を委嘱予定	
監　事	久笠　信雄	弁護士	
	藤川　晴基	税理士・広島経済大学　非常勤講師	

「特定非営利活動に係る事業会計」収支計算書

平成21年4月1日から平成22年3月31日まで

科　　目	決 算 額		一 般 会 計		特 別 会 計	
《経常収支の部》						
[経常収支の部]						
Ⅰ. 経常収入の部						
【経常収入】						
事業　収入	38,581,003		2,136,011		36,444,992	
正会員会費収入						
正会員－個人	175,000		175,000			
正会員NPO・団体	345,000		345,000			
協力会員会費収入						
協力会員－個人	48,000		48,000			
協力会員－NPO・団体	42,000		42,000			
協力会員－行政	0					
協力会員－企業	30,000		30,000			
受取利息収入	1,364				1,364	
雑　収　入	37,034		35,064		1,970	
経常収入合計		39,259,401		2,811,075		36,448,326
Ⅱ. 経常支出の部						
【事業費】						
期首棚卸高	1,747,017				1,747,017	
給料　手当	15,616,632				15,616,632	
外　注　費	4,793,501		11,000		4,782,501	
通　信　費	1,166,122		212,711		953,411	
運　搬　費	4,700				4,700	
水道光熱費	573,282		573,282			
旅費交通費	2,758,812		563,340		2,195,472	
広告宣伝費	402,590				402,590	
会　議　費	14,256				14,256	
消耗品　費	1,317,480		353,929		963,551	
消耗什器備品費	82,490				82,490	
図書購読費	89,694		4,090		85,604	
書籍仕入高	5,500				5,500	
賃　借　料	2,126,946		1,099,158		1,027,788	
諸　謝　金	2,740,880				2,740,880	
租税　公課						
印紙　税	80,100		21,300		58,800	
その他	400		400			
支払手数料	111,795		80,885		30,910	
リ ー ス 料	474,019		200,515		273,504	
接待交際費	2,000				2,000	
車両燃料費	69,205				69,205	
雑　　費	260,987		257,252		3,735	
期末棚卸高	△1,272,745				△1,272,745	
事業費 計		33,165,663		3,377,862		29,787,801
経常収入－事業費		6,093,738		△ 566,787		6,660,525
【管理費】						
給料　手当	598,958		42,946		556,012	
養　成　費	6,000		431		5,569	
法定福利費	1,345,418		5,948		1,339,470	
福利厚生費	12,291		882		11,409	
通　信　費	148,570		10,225		138,345	
運　搬　費	500		36		464	
電話通信費	12,284		881		11,403	
水道光熱費	164,887		11,823		153,064	

旅費交通費						
通勤交通費	134,040		9,611		124,429	
その他交通費	718,070		51,486		666,584	
接待交際費	247,296		17,732		229,564	
消耗　品費	380,563		15,302		365,261	
図書購読費	23,250		1,668		21,582	
賃　借　料	354,166		25,215		328,951	
保　険　料	12,170		873		11,297	
租税　公課						
法人税　等	71,000				71,000	
利子源泉所得税	196				196	
利子　割額	64				64	
印　紙　税	25,500		1,829		23,671	
消　費　税	62,100				62,100	
諸　会　費	173,000		12,405		160,595	
リ　ー　ス料	422,450		30,290		392,160	
支払手数料	125,665		8,949		116,716	
総会開催費	22,148		1,589		20,559	
支払　利息	238,270		16,084		222,186	
雑　　費	427,304		27,326		399,978	
雑　損　失	24,871		1,784		23,087	
管理費　計		5,751,031		295,315		5,455,716
経常収支差額		342,707		△ 862,102		1,204,809
[その他資金収支の部]						
【その他資金収入】						
短期借入金収入	13,000,000		13,000,000			
その他資金収入　計		13,000,000		13,000,000		0
【その他資金支出】						
短期借入金返済支出	10,000,000		10,000,000			
その他資金支出　計		10,000,000		10,000,000		0
当期収支差額		3,342,707		2,137,898		1,204,809
前期繰越収支差額		5,378,643		△ 633,352		6,011,995
次期繰越収支差額		8,721,350		1,504,546		7,216,804
《正味財産増減の部》						
【正味財産増加の部】						
当期収支差額	3,342,707		2,137,898		1,204,809	
短期借入金返済額	10,000,000		10,000,000			
正味財産増加の部　計		13,342,707		12,137,898		1,204,809
【正味財産減少の部】						
短期借入金増加額	13,000,000		13,000,000			
正味財産減少の部　計		13,000,000		13,000,000		0
当期正味財財産増加額		342,707		△ 862,102		1,204,809
前期繰越正味財産額		122,627		△ 5,980,472		6,103,099
当期正味財産合計		465,334		△ 6,842,574		7,307,908

「特定非営利活動に係る事業会計」貸借対照表

平成22年3月31日現在

特定非営利活動法人　ひろしまNPOセンター　　（単位:円）

科　　目	決 算 額		一 般 会 計		特 別 会 計	
Ⅰ.資産の部						
1流動資産						
現　　金	1,024,851		782,496		242,355	
普通 預金	2,910,498		1,365,318		1,545,180	
未 収 金	14,058,589		324,656		13,733,933	
棚卸 資産	1,272,745				1,272,745	
立 替 金	10,860		10,860			
貸付金(特別会計へ)	2,000,000		2,000,000			
流動資産合計		21,277,543		4,483,330		16,794,213
2固定資産						
什器 備品	91,104				91,104	
電話加入権	152,880		152,880			
固定資産合計		243,984		152,880		91,104
資産の部合計		21,521,527		4,636,210		16,885,317
Ⅱ.負債の部						
1流動負債						
未 払 金	6,291,070				6,291,070	
前 受 金	10,000		10,000			
預 り 金	4,255,123		2,968,784		1,286,339	
借入金(一般会計から)	2,000,000				2,000,000	
短期借入金	8,500,000		8,500,000			
流動負債合計		21,056,193		11,478,784		9,577,409
2固定負債						
固定負債合計		0		0		0
負債の部合計		21,056,193		11,478,784		9,577,409
Ⅲ.正味財産の部						
1前期繰越正味財産	122,627		△ 5,980,472		6,103,099	
2当期正味財産増加額	342,707		△ 862,102		1,204,809	
正味財産の部合計		465,334		△ 6,842,574		7,307,908
負債・正味財産合計		21,521,527		4,636,210		16,885,317

(計算書類に対する注記)

1.資金の範囲には、現金・預金・未収金・前払費用・立替金・商品・未払金・前受金・預り金を含めている。

2.消費税の会計処理は税込経理方式によっている。

「特定非営利活動に係る事業会計」収支計算書

平成22年3月31日現在

Ⅰ.資産の部			
1流動資産			
現　　金		1,024,851	
普通　預金			
広銀・銀山町支店		1,531,586	
広銀・県庁支店		10,207	
広銀・八丁堀支店		31	
ゆうちょ銀行・サポート倶楽部		83,837	
ゆうちょ銀行		233,593	
中国労働金庫		39,733	
労金・寄付システム		1,011,511	
現金・預金　計		3,935,349	
未　収　金		14,058,589	
債権　計		14,058,589	
棚卸　資産		1,272,745	
棚卸資産　計		1,272,745	
立　替　金		10,860	
その他流動資産　計		10,860	
流動資産合計			19,277,543
2固定資産			
什器　備品　パーティション		91,104	
電話加入権		152,880	
固定資産合計			243,984
	資産の部合計		19,521,527
Ⅱ.負債の部			
1流動負債			
未　払　金		6,291,070	
前　受　金		10,000	
預　り　金			
給与源泉預り金		192,483	
報酬源泉預り金		380,608	
雇用保険料預り金		63,747	
社会保険料預り金		761,714	
その他		2,856,571	
短期借入金		8,500,000	
流動負債合計			19,056,193
2固定負債			
固定負債合計			0
	負債の部合計		19,056,193
	正味財産合計		465,334
	負債・正味財産合計		19,521,527

貸付金（特別会計へ）と借入金（一般会計から）は内部の会計間取引なので表示していません。